

富士を見ながら磯歩き

場 所：京急三崎口駅～福泉寺～三戸浜海岸～黒崎の鼻～円徳寺～
和田の磯(昼食)～和田名浜海岸～佃嵐崎～ソレイユの丘

実施日：2023年2月18日(土) 弁当持参
集 合：京急三崎口駅改札外 10時00分



三崎口駅からしばらく歩くと広々とした大根畑が開かれる。三浦の大根栽培の始まりは明治時代前期大正年間練馬大根と地大根(高円坊)の交配により三浦大根が生まれた。今は栽培し易い青首大根に代えられ、三浦大根を栽培している農家はごくわずかです。この辺は戦時中に飛行場が造られた。約1kmの直線道路が当時を彷彿させます。地元の間ではこの地を「飛行場」と言っているそうです。そこから海の方にしばらく歩くと永禄年間(1558～70)創建と伝えられる浄土宗の福泉寺。本尊は阿弥陀三尊です。参道入り口にいくつかの石塔が並んでいますが、その中に「一切亡中魚墓」という碑がある。この碑は虫や魚の供養塔で、生きるもの全てへの憐れみの心をあらわす墓石で、珍しいものです。そこから更に海の方に向かって歩くと三戸浜海岸にでます。ここから相模湾と富士の眺めは素晴らしいものです。ここから黒崎の鼻へ歩いて行くと、砂浜から岩場になるところに打ち上げられた貝殻があり、その中にタカラガイがあります。そこから波島を通り、カインズホームセンタへ行き(人)休憩とします。そこから三浦臨海高校の脇を通り円徳寺を訪ねます。この寺は永仁二年(1294)創建と伝えられ日蓮宗の寺で開山は日範。近くに日蓮が伊豆に流された時、日蓮の苦難を偲びつつ日範が修行したという妙法経窟がある。そこから磯に出て

和田名浜海岸の磯で昼食と休憩をとります。和田長浜海岸から佃嵐崎まで歩き荒磯と富士を見て磯歩きを楽しみます。磯から階段を上がり南仏プロウンス地方の雰囲気のあるテーマパーク「ソレイユの丘」へ。そこで解散です。

バスで三崎口又は横須賀方方面へ



大根畑と富士山



福泉寺



三戸浜



黒崎の鼻



円福寺



佃嵐崎



ソレイユの丘

福泉寺(龍圓山)

参道入口にいくつかの石塔が並んでいますが、その中の一つに、本堂に向かって左側に角柱形の高さ50cmほどの「一切亡虫魚墓(いっさいぼうちゅうぎよぼ)」という碑がある。この碑は虫や魚の供養塔で、生きるもの全てへの憐れみの心をあらわす墓石で、珍しいと言うものです。右の画像は、胸に幼子を抱いているので子安観音かな? 宝暦十三年三月(1763年)



三戸浜

三浦市にはマグロで知られる三崎漁港をはじめ5つの漁港がある。その一つの初声漁港ここ三戸浜にあります。地元のサザエやワカメ、エビ類などを採る小さな漁港です。漁港から黒崎の鼻へ歩いて行くと、砂浜から岩場になるところに打ち上げられた貝殻がたくさんあります。その中にタカラガイがあります。探してみましょう。

黒崎の鼻

海岸の地形で海洋に突き出した陸地を埼、岬、鼻などと言います。黒崎は初声の小字名で現在の大根畑の一部を言い、黒崎の鼻と言われる付近の小字名は黒崎原と言う。

ソレイユの丘

「ソレイユ」はフランス語で太陽を意味します。開園は平成17年で、面積は、21.3haです。南仏プロウンス地方をイメージした建物を配し、野菜の収穫体験やパンやバターなどの手造り体験ができます。